

# 市民アンケート実施結果

## 1 市民アンケート調査の実施概要

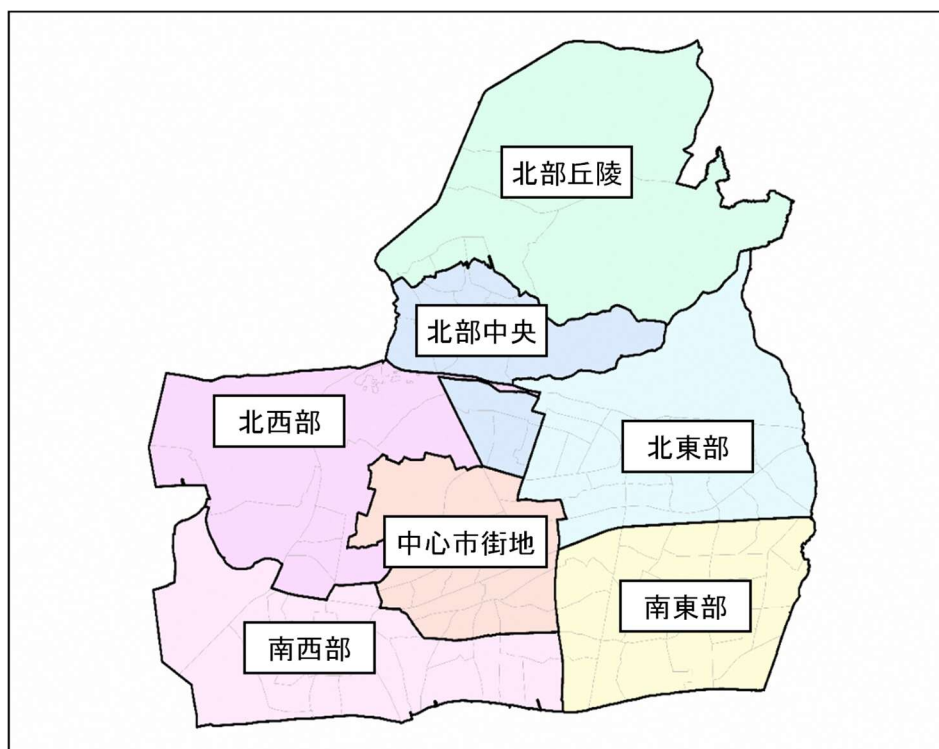
### (1) 実施目的

- ・移動実態：外出目的別に移動実態（行き先、移動手段、時間帯、頻度等）を把握
- ・取組の認知度：これまでの取組の認知度、公共交通利用への寄与を把握
- ・今後のニーズ：重視する移動、具体のニーズ、公共交通の維持に向けた考えを把握
- ・地域別の意見を把握：実態や意向について地域別・路線別に把握できるように配布数を設定

### (2) 対象地域及び配布数の設定

ちがさき都市マスタープランと整合を図り、市内を7つの地域に分類する。

配布数は3150票とする。(各地域450票)



■図表 1 対象地域の設定

### (3) 調査実施時期

配布：2023年2月24日（金）、回収期限：2023年3月12日（日）

2022年12月14日に実施した令和4年度第2回地域公共交通会議において、アンケート調査内容を協議し、その後修正を重ね、2月末の配布、3月回収とし、2023年3月27日に開催した令和4年度第3回地域公共交通会議にて結果を報告した。

#### (4) 調査項目

##### 問1：回答者属性

- ・年代、職業、同居者、最寄りバス停・徒歩時間、無理なく歩ける距離

##### 問2：近年の取組みに関する認知度

- ・地図アプリや乗換案内アプリ、タクシーアプリ、バスロケに関する認知度

##### 問3：移動実態

- ・通勤・通学、買い物、通院、その他の用事について
- ・頻度、行先、交通手段、雨天時の交通手段、移動の不満や困難の有無、その理由を把握

##### 問4：自動車の保有、免許の返納意向

- ・自動車及び免許の有無、免許の返納に関する今後5年間の意向

##### 問5：自動車利用の状況

- ・近隣市町（藤沢、寒川、平塚）とそれ以遠までの自動車利用の状況
- ・上記それぞれの移動について、自動車を利用する理由

##### 問6：自動車利用に対する意識

- ・自動車利用を減らす意識、行動の有無

##### 問7：自由意見

(5) 依頼文、調査票、別紙

①依頼文

### 日常の移動手段に関するアンケート調査ご回答のお願い

近年、人口減少や少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症によるライフスタイルの変化、公共交通の担い手不足等により、鉄道やバス、タクシーなどの公共交通は路線の維持確保や運営が難しい状況におかれています。また、低炭素社会の実現、まちの賑わい維持、外出による健康増進を図るため、徒歩、自転車、公共交通によって移動がしやすいまちづくりが必要です。

本アンケートは、このような状況を踏まえ、皆さまの日常の移動の実態について調査・分析を行い、今後の取組みの参考とさせていただきます大変重要なものです。

お忙しいところ恐縮ですが、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

#### 【ご回答に当たってのお願い】

- 本調査は、市内にお住まいの満15歳以上の方から無作為に抽出し、調査へのご回答をお願いしています。
- 本調査は、10分程度で回答できます。
- 調査にご回答の上、3月12日（日）までに、同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストへ投函いただきますようお願いいたします。※切手は不要です。
- ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人を特定するような情報は一切公開されません。

※本調査は、八千代エンジニアリング㈱が茅ヶ崎市役所から委託を受け実施しています。

#### 【お問い合わせなど】

担当：茅ヶ崎市 都市部 都市政策課 電話：0467-82-1111（内線 2341-4）

業務委託先：八千代エンジニアリング株式会社 道路・交通部

電話：03-5822-6029（調査担当 加藤・森・藤田）

インターネット（スマートフォン等）からも回答が可能です  
・右の二次元コードを読み取り、アンケートにご回答ください

回答用二次元コード→









③調査票

## 日常の移動手段に関するアンケート調査

当てはまる番号に○をつけるか、( ) 内に内容を記入してください

**【ご自身について】**

問1. ご自身についてお答えください。また、別紙「お住まいのエリアについて」の図にある格子状のマスから、ご自身が居住しているエリアをお選びになり、格子状のマスを塗りつぶしてください。

お住まい (町丁目)	茅ヶ崎市 (町丁目名: _____) <span style="float: right;">例: 茅ヶ崎市 (茅ヶ崎一丁目) ※番地の記載は不要です</span>	
年 代	1. 15～19歳   2. 20～29歳   3. 30～39歳   4. 40～49歳   5. 50～59歳 6. 60～64歳   7. 65～69歳   8. 70～74歳   9. 75～79歳   10. 80歳以上	
職 業	1. 会社員・公務員・自営業   2. 高校生   3. 大学生・専門学生 4. 主婦・主夫   5. パート・アルバイト   6. 無職   7. その他	
同居の ご家族	あなたと同居されている方を教えてください。(当てはまるものすべてに○) 1. 同居者はいない   2. 大人 (介護等は不要)   3. 大人 (介護等が必要) 4. 未就学児   5. 小・中学生   6. 学生 (小・中学生を除く) 7. その他 (_____)	
最寄り バス停 について	最寄りバス停名	バス停名: (_____)
	最寄りバス停 までの徒歩時間	1. 1分以内   2. 3分以内   3. 5分以内 4. 10分以内   5. 10分を超える   6. わからない
無理なく 歩ける距離	※平坦な道で無理なく歩ける距離 1. 100m以内   2. 300m以内   3. 500m以内   4. 1km以内   5. それ以上	

**【鉄道やバス、タクシーに関する取組みについて】**

問2. 鉄道やバス、タクシーに関する近年の取組み (アプリやシステム等) について、利用したことがありますか。利用したことがある方は、ご自身の外出が便利になったか、利用したことがない方は、取組みを知っていたか、お答えください。

鉄道やバス、タクシーで進められてきた 移動環境の向上のための取組み	アプリやシステムを 利用したことがある		アプリやシステムを 利用したことがない	
	取組みにより外出 が便利に なった	取組みにより 外出は便利に なっていない (または変わ らない)	取組みを 知っていた	取組みを 知らなかった
1) 出発地から目的地への経路の検索 (Google Map 等の検索アプリやホームページ)	1	2	3	4
2) 出発駅から到着駅への路線・乗換情報の検索 (乗換案内等の検索アプリやホームページ)	1	2	3	4
3) 民間路線バスでのバスの運行状況を確認 できる「バスロケーションシステム」の導入	1	2	3	4
4) タクシーの予約・配車アプリ (スマートフォン等でタクシーが呼べるアプリ)	1	2	3	4

→次ページ (問3) に続きます。



【移動目的別の外出状況、移動に関する不満について】 以下のア)～エ)のうち、該当する目的すべてにご回答ください

問3. 移動目的別に、目的地、移動頻度、移動手段、移動の満足度、不満の理由等をお答えください。

**ア) 通勤・通学**  
※通勤、通学を行っている方のみ回答

**イ) 買い物（食料品・日用品など）**  
※主な目的が買い物となる移動を回答

■移動の頻度、目的について

①移動頻度	1. 週5日以上	2. 週3～4日
	3. 週1～2日	4. 月2～3日
	5. 月1日以下	
②目的地	1. 市内（町名：_____）	
	2. 市外（市区町村名：_____）	

1. 週5日以上	2. 週3～4日
5. 月1日以下	
1. 市内（施設名：_____）	
2. 市外（市区町村名：_____）	

■主な移動手段

③鉄道利用	1. 利用する	2. 利用しない
※鉄道を利用する方は駅までの手段、鉄道を利用しない方は目的地までの代表的な手段を1つ回答		
④鉄道以外の移動手段 (1つに○)	1. 路線バス（神奈中・江ノ電バス等）	
	2. コミュニティバスえぼし号	
	3. 予約型乗合バス	
	4. タクシー	
	5. 自動車（ご自身で運転）	
	6. 自転車	
	7. 自動車（家族等の送迎）	
	8. 徒歩	
	9. その他（_____）	

1. 利用する	2. 利用しない
※鉄道を利用する方は駅までの手段、鉄道を利用しない方は目的地までの代表的な手段を1つ回答	
1. 路線バス（神奈中・江ノ電バス等）	
2. コミュニティバスえぼし号	
3. 予約型乗合バス	
4. タクシー	
5. 自動車（ご自身で運転）	
6. 自転車	
7. 自動車（家族等の送迎）	
8. 徒歩	
9. その他（_____）	

■雨天時等で③、④の代わりに使う移動手段 ※雨天時等に移動手段を変えない場合は記入不要

⑤鉄道利用	1. 利用する	2. 利用しない
※鉄道を利用する方は駅までの手段、鉄道を利用しない方は目的地までの代表的な手段を1つ回答		
⑥鉄道以外の移動手段 (1つに○)	1. 路線バス	
	2. コミュニティバスえぼし号	
	3. 予約型乗合バス	
	4. タクシー	
	5. 自動車（ご自身で運転）	
	6. 自転車	
	7. 自動車（家族等の送迎）	
	8. 徒歩	
	9. その他（_____）	

1. 利用する	2. 利用しない
※鉄道を利用する方は駅までの手段、鉄道を利用しない方は目的地までの代表的な手段を1つ回答	
1. 路線バス	
2. コミュニティバスえぼし号	
3. 予約型乗合バス	
4. タクシー	
5. 自動車（ご自身で運転）	
6. 自転車	
7. 自動車（家族等の送迎）	
8. 徒歩	
9. その他（_____）	

■乗車駅、利用バス停 ※普段利用する駅、バス停を記入ください。（鉄道、バスを選択しなかった場合は記入不要）  
※雨天時等のみ利用する場合は、雨天時に利用する駅、バス停を記入ください。

⑦鉄道の乗車駅	1. 茅ヶ崎駅	2. 北茅ヶ崎駅	3. 香川駅
	4. 辻堂駅	5. その他（_____）	
⑧ご利用のバス停	乗車バス停名：（_____）		
	降車バス停名：（_____）		

1. 茅ヶ崎駅	2. 北茅ヶ崎駅	3. 香川駅
4. 辻堂駅	5. その他（_____）	
乗車バス停名：（_____）		
降車バス停名：（_____）		

■移動に関する不満や困難度について

⑨移動への不満	1. 不満はない	2. 不満に思うときがある
⑩移動の困難度	1. 困難ではない	2. 困難に思うときがある
⑪不満または困難と 思う理由 (当てはまるものすべてに○)	1. 鉄道やバスが不便（本数や時間帯など）	
	2. 身体的理由（歩くのが大変など）	
	3. 費用面の理由（運賃が高いなど）	
	4. 交通状況（渋滞など）	
	5. 自宅から目的地が遠い	
	6. その他（_____）	

1. 不満はない	2. 不満に思うときがある
1. 困難ではない	2. 困難に思うときがある
1. 鉄道やバスが不便（本数や時間帯など）	
2. 身体的理由（歩くのが大変など）	
3. 費用面の理由（運賃が高いなど）	
4. 交通状況（渋滞など）	
5. 自宅から目的地が遠い	
6. その他（_____）	

※以下のア)～エ)のうち、該当する目的すべてにご回答ください※

**ウ) 通院**

※定期的な通院を行っている方のみ回答

**エ) その他の用事 (食事、余暇・趣味など)**

※主な目的がその他の用事となる移動を回答

■移動の頻度、目的について

①移動頻度	1. 週5日以上	2. 週3～4日
	3. 週1～2日	4. 月2～3日
②目的地	5. 月1日以下	
	1. 市内 (町名: _____)	
	2. 市外 (市区町村名: _____)	

1. 週5日以上	2. 週3～4日
	3. 週1～2日
4. 月2～3日	
5. 月1日以下	
1. 市内 (施設名: _____)	
2. 市外 (市区町村名: _____)	

■主な移動手段

③鉄道利用	1. 利用する	2. 利用しない
④鉄道以外の移動手段 (1つに○)	※鉄道を利用する方は駅までの手段、鉄道を利用しない方は目的地までの代表的な手段を1つ回答	
	1. 路線バス (神奈中・江ノ電バス等)	2. コミュニティバスえぼし号
	3. 予約型乗合バス	4. タクシー
	5. 自動車 (ご自身で運転)	6. 自転車
	7. 自動車 (家族等の送迎)	8. 徒歩
	9. その他 (_____)	

1. 利用する	2. 利用しない
※鉄道を利用する方は駅までの手段、鉄道を利用しない方は目的地までの代表的な手段を1つ回答	
1. 路線バス (神奈中・江ノ電バス等)	2. コミュニティバスえぼし号
3. 予約型乗合バス	4. タクシー
5. 自動車 (ご自身で運転)	6. 自転車
7. 自動車 (家族等の送迎)	8. 徒歩
9. その他 (_____)	

■雨天時等で③、④の代わりに使う移動手段 ※雨天時等に移動手段を変えない場合は記入不要

⑤鉄道利用	1. 利用する	2. 利用しない
⑥鉄道以外の移動手段 (1つに○)	※鉄道を利用する方は駅までの手段、鉄道を利用しない方は目的地までの代表的な手段を1つ回答	
	1. 路線バス	2. コミュニティバスえぼし号
	3. 予約型乗合バス	4. タクシー
	5. 自動車 (ご自身で運転)	6. 自転車
	7. 自動車 (家族等の送迎)	8. 徒歩
	9. その他 (_____)	

1. 利用する	2. 利用しない
※鉄道を利用する方は駅までの手段、鉄道を利用しない方は目的地までの代表的な手段を1つ回答	
1. 路線バス	2. コミュニティバスえぼし号
3. 予約型乗合バス	4. タクシー
5. 自動車 (ご自身で運転)	6. 自転車
7. 自動車 (家族等の送迎)	8. 徒歩
9. その他 (_____)	

■乗車駅、利用バス停 ※普段利用する駅、バス停を記入ください。(鉄道、バスを選択しなかった場合は記入不要) ※雨天時等のみ利用する場合は、雨天時に利用する駅、バス停を記入ください。

⑦鉄道の乗車駅	1. 茅ヶ崎駅	2. 北茅ヶ崎駅	3. 香川駅
	4. 辻堂駅	5. その他 (_____)	
⑧ご利用のバス停	乗車バス停名: (_____)		
	降車バス停名: (_____)		

1. 茅ヶ崎駅	2. 北茅ヶ崎駅	3. 香川駅
4. 辻堂駅	5. その他 (_____)	
乗車バス停名: (_____)		
降車バス停名: (_____)		

■移動に関する不満や困難度について

⑨移動への不満	1. 不満はない	2. 不満に思うときがある
⑩移動の困難度	1. 困難ではない	2. 困難に思うときがある
⑪不満または困難と 思う理由 (当てはまるものすべてに○)	1. 鉄道やバスが不便 (本数や時間帯など)	
	2. 身体的理由 (歩くのが大変など)	
	3. 費用面の理由 (運賃が高いなど)	
	4. 交通状況 (渋滞など)	
	5. 自宅から目的地が遠い	
	6. その他 (_____)	

1. 不満はない	2. 不満に思うときがある
1. 困難ではない	2. 困難に思うときがある
1. 鉄道やバスが不便 (本数や時間帯など)	
2. 身体的理由 (歩くのが大変など)	
3. 費用面の理由 (運賃が高いなど)	
4. 交通状況 (渋滞など)	
5. 自宅から目的地が遠い	
6. その他 (_____)	

→次ページ (問4) に続きます。



**【自動車での移動について】**

問4. 自動車・自動車の運転免許の保有状況、免許返納についてのお考えをご回答ください。

①自動車の保有	1. 自分専用の自動車がある 2. 家族共有の自動車がある 3. 持っていない
②運転免許の保有	1. 持っている 2. 持っていたが返納した 3. 持っていたことはない
③免許返納についてのお考え (今後5年間)	※上記②で運転免許を「1.持っている」とお答えした方にお聞きます。 今後5年以内の免許返納についてのお考えをご回答ください。 1. 返納する予定 2. 返納する可能性が高い 3. 返納するかもしれない 4. 返納しない

問5. 自動車の利用頻度、利用する理由について、市内や近隣市町での利用（藤沢、寒川、平塚など）と、それより遠い場所までの利用（横浜、小田原など）、それぞれについてお答えください。

	市内や近隣市町 (藤沢、寒川、平塚など)	それより遠い場所までの利用 (横浜、小田原など)
自動車の 利用頻度 (1つに○)	1. 週5日以上 2. 週3~4日 3. 週1~2日 4. 月数日 5. 月1日以下 6. 利用していない	1. 週5日以上 2. 週3~4日 3. 週1~2日 4. 月数日 5. 月1日以下 6. 利用していない
自動車を 利用する 理由 (当てはまるものすべてに○)	1. 自動車以外の方法を考えたことがない 2. 公共交通が使いづらい 3. ご自身の状況(足が不自由、荷物が多いなど) 4. 同乗者の状況(子連れで移動が大変など) 5. 移動にかかる費用が自動車の方が安い 6. 自動車のほうが安心・安全 7. その他( )	1. 自動車以外の方法を考えたことがない 2. 公共交通が使いづらい 3. ご自身の状況(足が不自由、荷物が多いなど) 4. 同乗者の状況(子連れで移動が大変など) 5. 移動にかかる費用が自動車の方が安い 6. 自動車のほうが安心・安全 7. その他( )

問6. 自動車の運転について、以下のそれぞれの項目にどの程度当てはまるか5段階でお答えください。

	当てはまる ←	←	→	当てはまらない
1) 自動車を利用しなくても日常生活は可能である	1	2	3	4 5
2) 運転することに不安を感じることもある	1	2	3	4 5
3) 意識的に運転する機会を減らしている	1	2	3	4 5
4) 意識的に徒歩や自転車を使うようにしている	1	2	3	4 5
5) 意識的に鉄道やバス、タクシー等を使うようにしている	1	2	3	4 5

**【自由意見】**

問7. 茅ヶ崎市の公共交通に関する今後の施策や、その他お困りのことなど、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 2 集計結果

### 2.1 配布回収状況

- ・配布数 3,150 票に対し、1,114 票の回収が見られた。
- ・地域別の回収状況は以下のとおり。

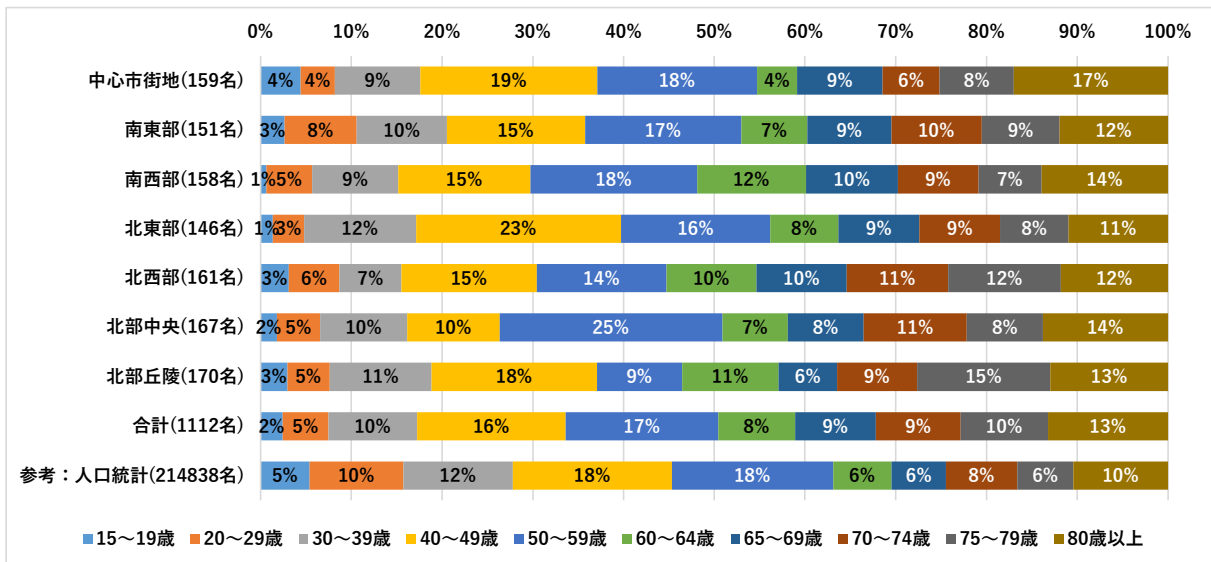
■図表 2 配布回収状況

	配布数	回収数	回収率
中心市街地	450	159	35%
南東部	450	152	34%
南西部	450	158	35%
北東部	450	146	32%
北西部	450	161	36%
北部中央	450	167	37%
北部丘陵	450	171	38%
合計	3,150	1,114	35%

### 2.2 回答者の属性

#### (1) 年代

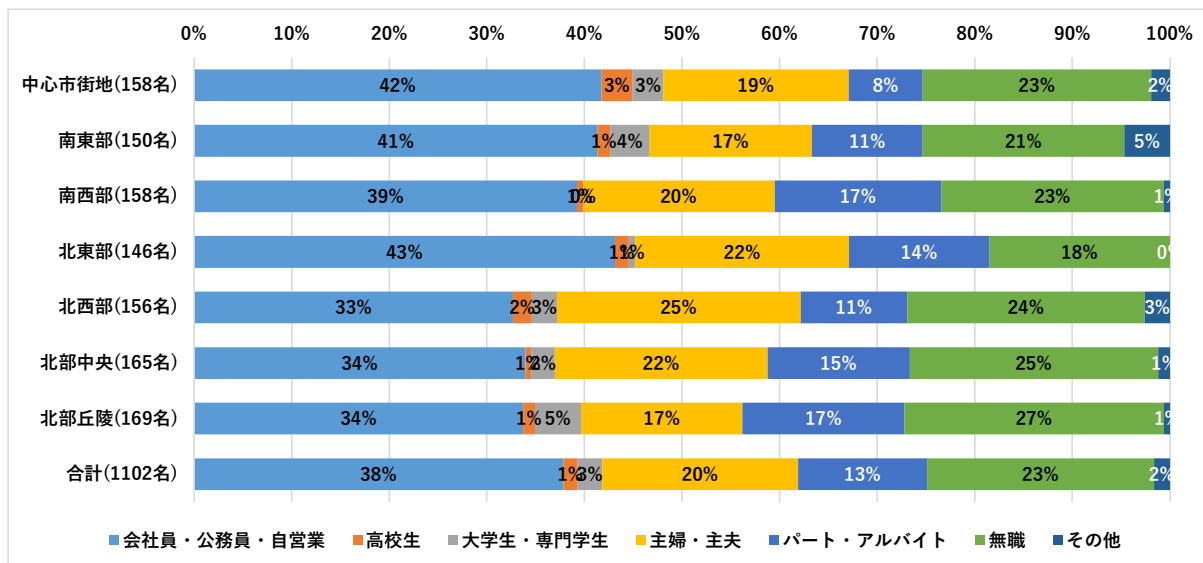
市全体の分布と比較し、65 歳以上の回答比率が高い。  
北東部のみ、65 歳以上の比率が低い。



■図表 3 回答者の年代構成

## (2) 職業

会社員・公務員・自営業、主婦・主夫、無職の比率が高い。

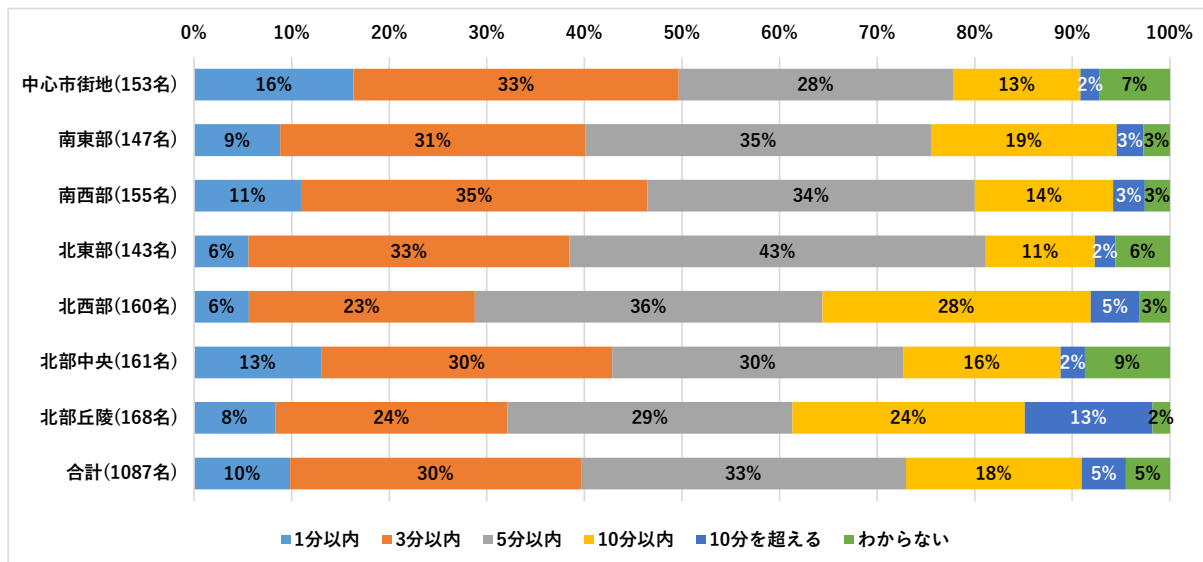


■図表 4 回答者の職業構成

## (3) 最寄りバス停までの徒歩時間

3分以内が40%、5分以内が70%となっている。

中心市街地、南東部、南西部と比較し、北部は3分以内の比率が低い



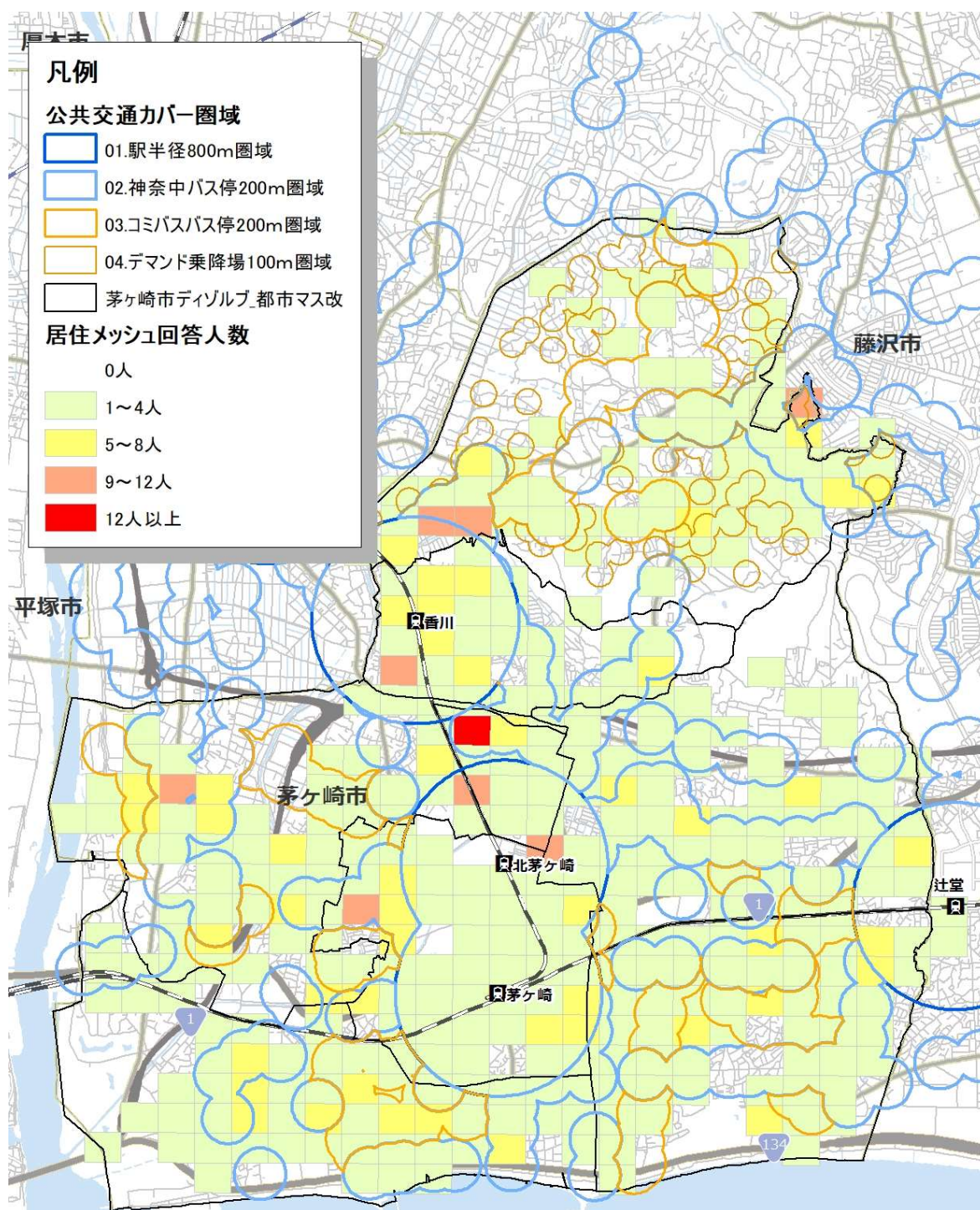
■図表 5 回答者の最寄りバス停までの徒歩時間



#### (4) 回答者の居住地の詳細

アンケート調査では、回答者の居住地について、町字のほか、メッシュでの記入形式で把握している。以下では、メッシュごとの記入件数、鉄道、バス、予約型乗合タクシーのカバー圏域との関係性を示す。

なお、メッシュ形式での回答は、回答総数 1,114 名のうち、985 名が回答しており、メッシュ情報記入率は 88% となっている。



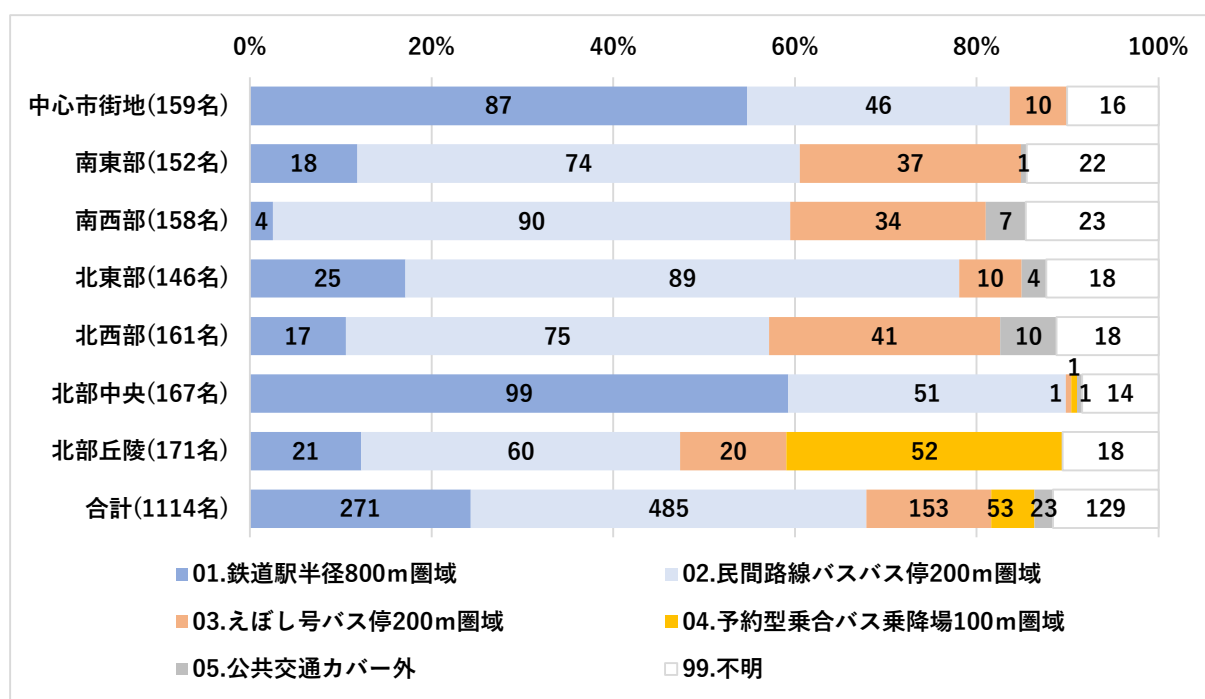
■図表 6 居住メッシュの回答状況

前項の回答結果について、地域別に公共交通カバー圏域別の整理を以下に示す。メッシュ情報の記入がない比率（図中の凡例 99. 不明）は、地域差は少ない。

中心市街地と北部中央は駅半径 800m 圏域に居住する方が半数以上となっている。これは、中心市街地は茅ヶ崎駅と北茅ヶ崎駅が立地し、北部中央は香川駅が立地するためである。

それ以外の地域のうち、南東部、南西部、北西部は民間路線バスやコミュニティバスえぼし号でのカバーが主となり、北部丘陵は予約型乗合バスによるカバーが多くなる。

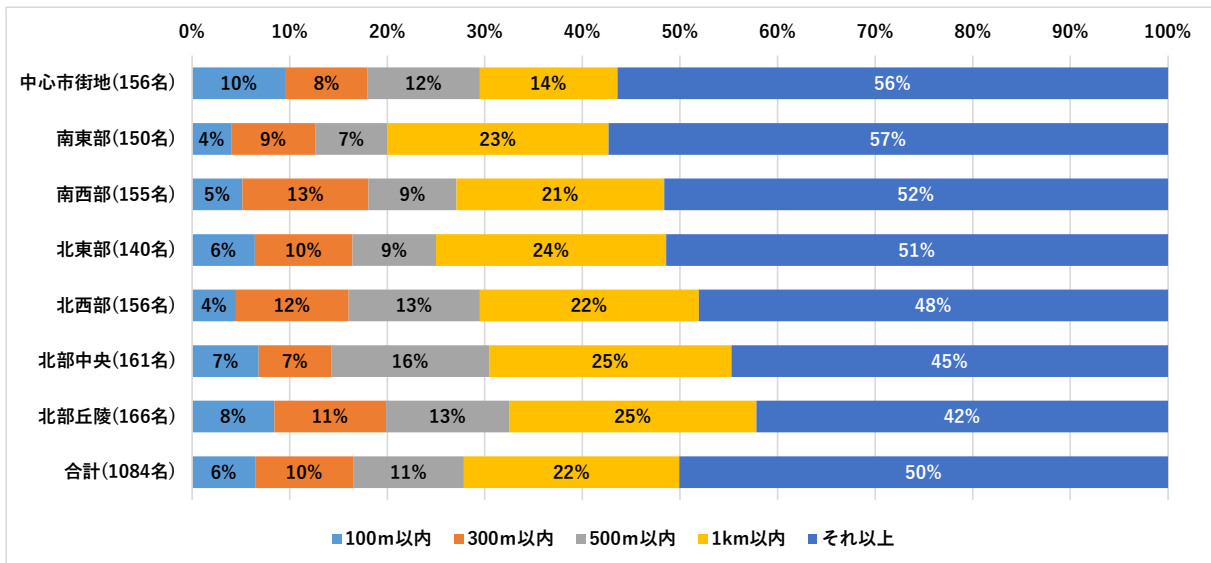
鉄道、民間路線バス、コミュニティバスえぼし号、予約型乗合バスのいずれの圏域からも外れる方は、全体で 23 名となっており、回答者の 2% 程度である。



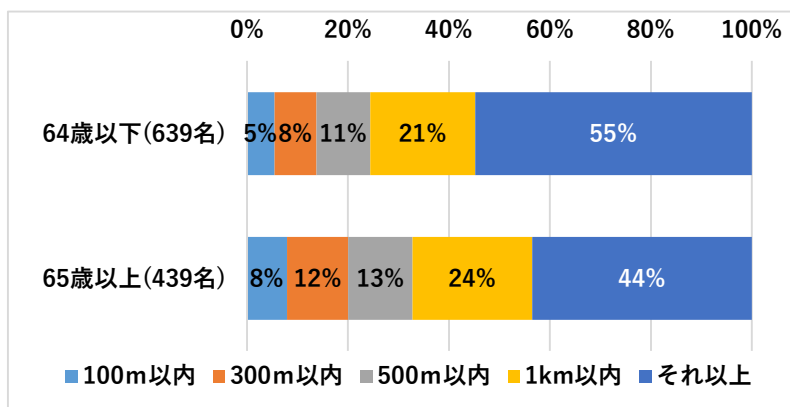
■図表 7 地域ごとの回答者の公共交通アクセス状況

### (5) 無理なく歩ける距離

1 km 以上徒歩移動可能とする方が半数となっている。



■ 図表 8 無理なく歩ける距離（地域別）



■ 図表 9 無理なく歩ける距離（年代別）



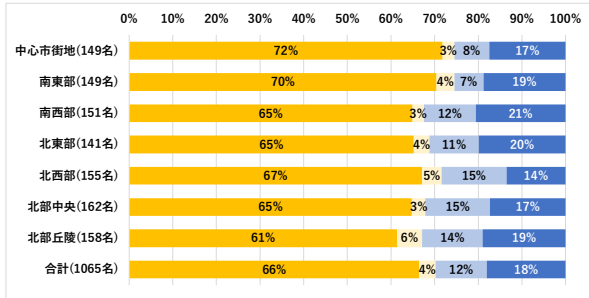
## 2.3 公共交通に関する取組みの認知度

グーグルマップ、乗換案内等は認知度が高く、便利になった比率も高い。

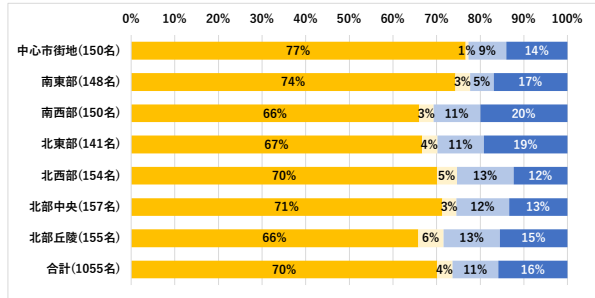
バスロケーションシステムについては、取組みは知っているが、使っていない比率が高い。

### 【地域別】

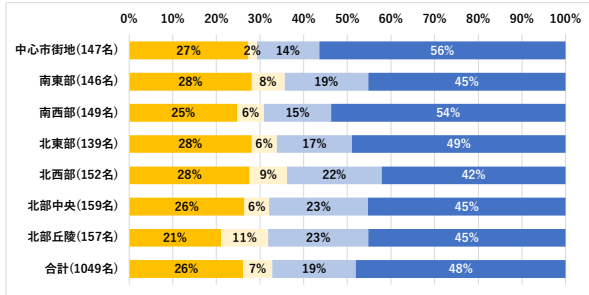
#### ・グーグルマップ等のアプリ



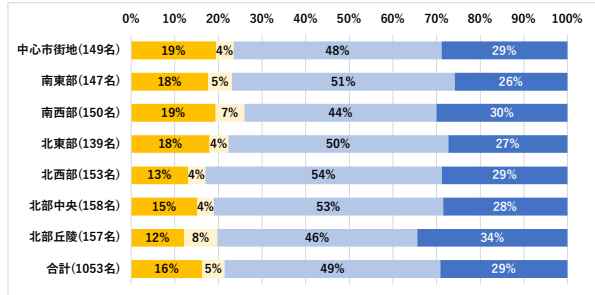
#### ・乗換案内等のアプリ



#### ・タクシー配車アプリ



#### ・バスロケーションシステム

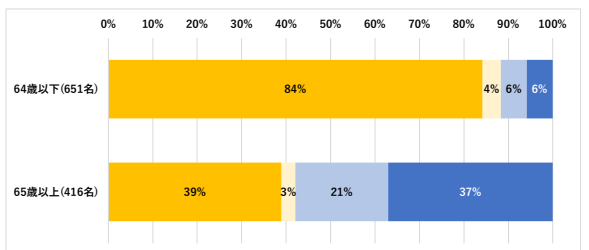


凡例 ■ 取組みにより外出が便利になった  
■ 取組みを知っていた(利用したことがない)

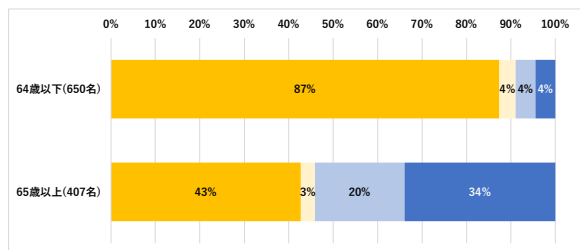
■ 取組みにより外出は便利になっていない(または変わらない)  
■ 取組みを知らなかった(利用したことがない)

### 【年代別】

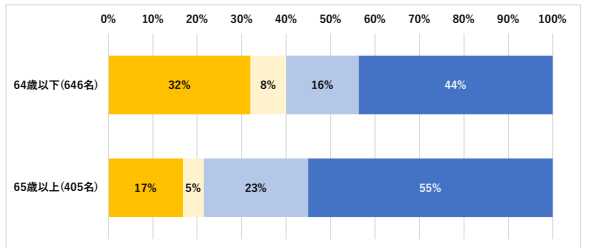
#### ・グーグルマップ等のアプリ



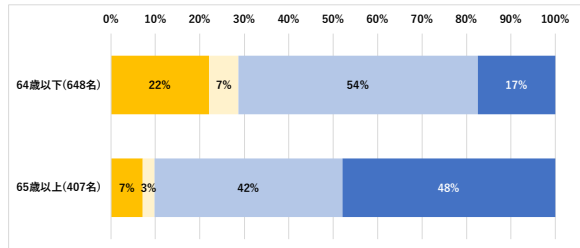
#### ・乗換案内等のアプリ



#### ・タクシー配車アプリ



#### ・バスロケーションシステム



凡例 ■ 取組みにより外出が便利になった  
■ 取組みを知っていた(利用したことがない)

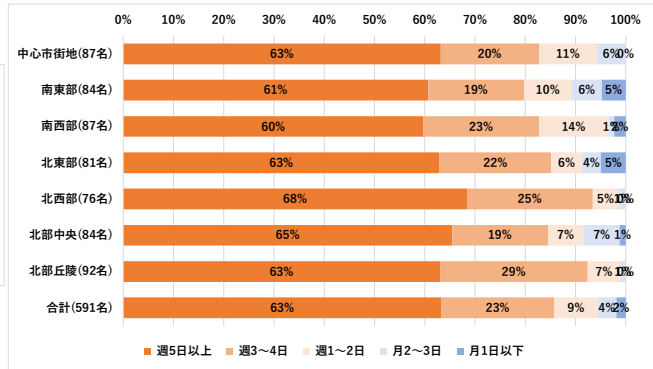
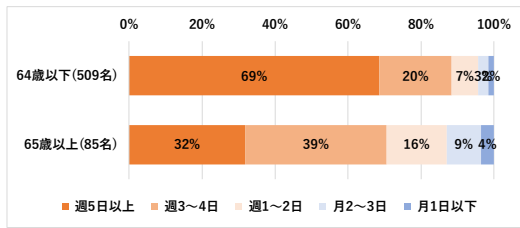
■ 取組みにより外出は便利になっていない(または変わらない)  
■ 取組みを知らなかった(利用したことがない)

■ 図表 10 取組みに関する認知度

## 2.4 通勤・通学の移動実態

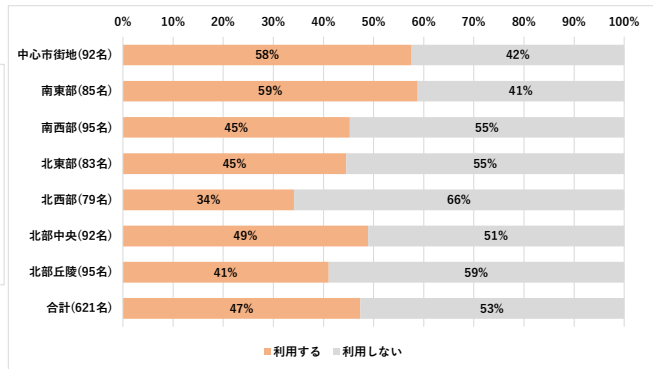
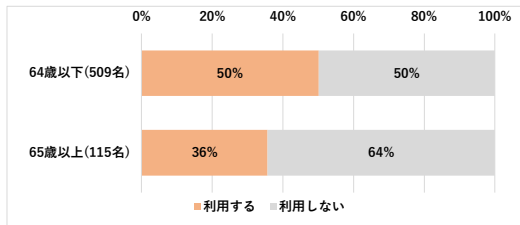
### (1) 移動頻度

週5日以上が大半である



### (2) 鉄道利用有無

鉄道の利用率は40%程度  
中心市街地に居住する方は比率が高い



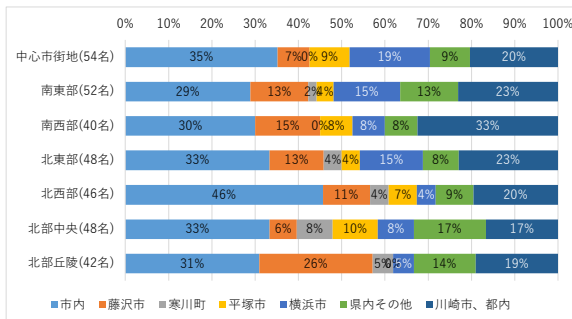
■ 図表 11 通勤・通学の移動頻度、鉄道利用有無

### (3) 移動先

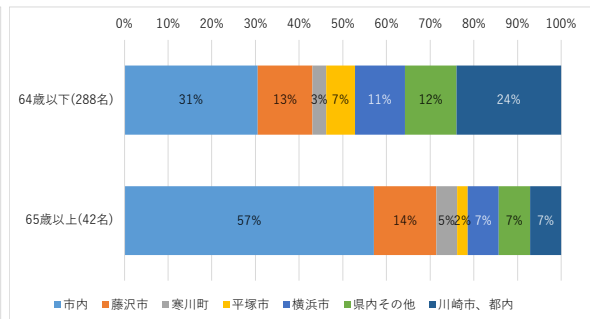
北西部の方のみ、茅ヶ崎市内の比率が高いが、それ以外の地域で市内の比率は同程度  
北部丘陵地域は藤沢市の比率が他地域より高い

年代別では、64歳以下は65歳以上と比較して市内の比率が低く、横浜、川崎、都内が多い

#### 居住地域別



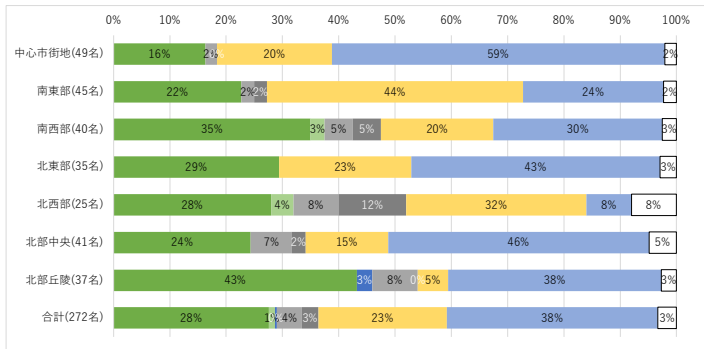
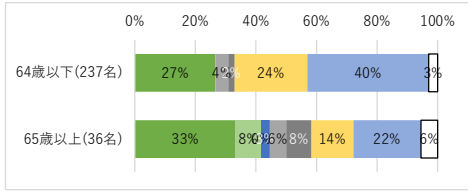
#### 年代別



■ 図表 12 通勤・通学の移動先

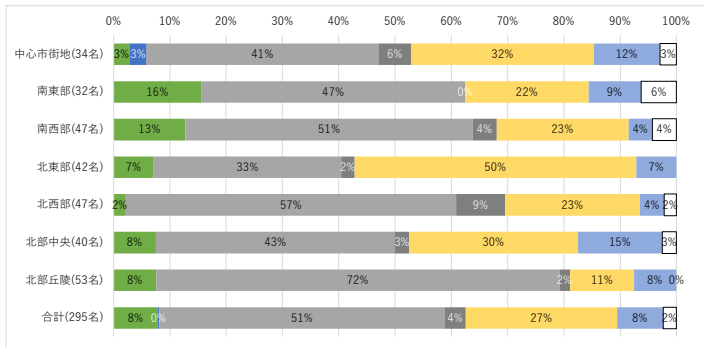
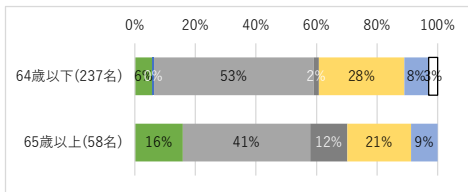
#### (4) 鉄道駅までの移動手段

※鉄道を利用する方  
徒歩が最も多いが、  
路線バスと自転車と同程度である  
南西部、北東部はバスの比率が特に高い



#### (5) 移動手段(鉄道を利用しない方の主な手段)

※鉄道を利用しない方  
自動車(自分で運転)の比率が高い

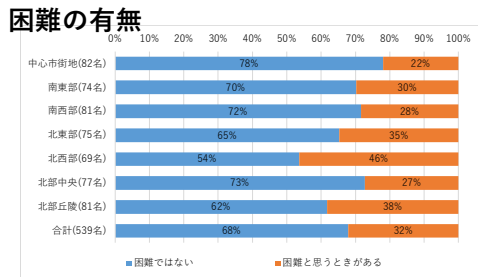
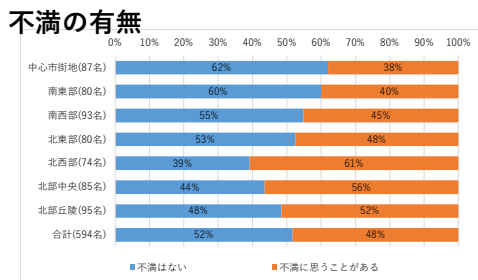


凡例 ■ 路線バス ■ コミュニティバス ■ 予約型乗合バス  
■ タクシー ■ 自動車(ご自身で運転) ■ 自転車  
■ 自動車(家族等の送迎) ■ 徒歩 □ その他

■ 図表 13 通勤・通学の移動手段(鉄道利用有無別)

#### (6) 移動の不満、困難の有無

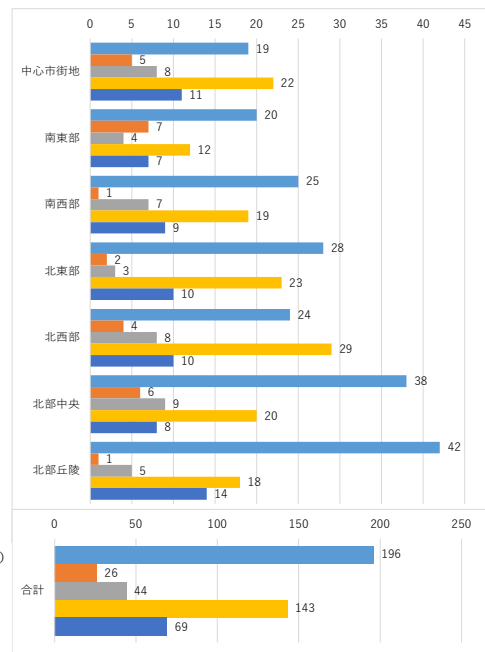
半数の方が不満があると回答  
困難とする方の比率は少ない



#### (7) 不満、困難とする理由

鉄道やバスが不便、交通状況(渋滞など)といった意見が多い

北東部、北西部、南西部は鉄道やバスが不便という意見は少なく、交通状況の意見が多い



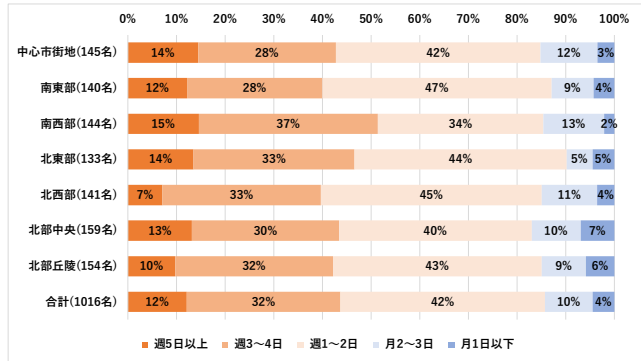
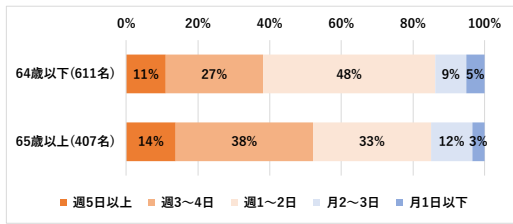
■ 図表 14 通勤・通学の移動の不満、困難の有無、不満、困難の理由



## 2.5 買い物の移動状況

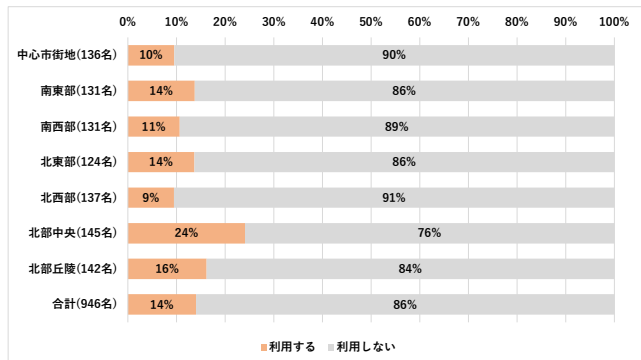
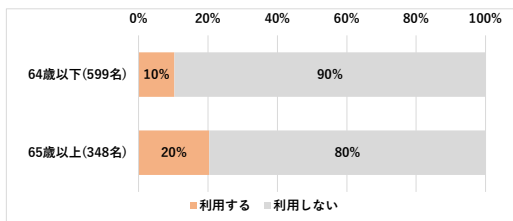
### (1) 移動頻度

週3~4日、週1~2日が多い



### (2) 鉄道利用有無

鉄道を利用する比率は低い  
北部中央のみやや高い

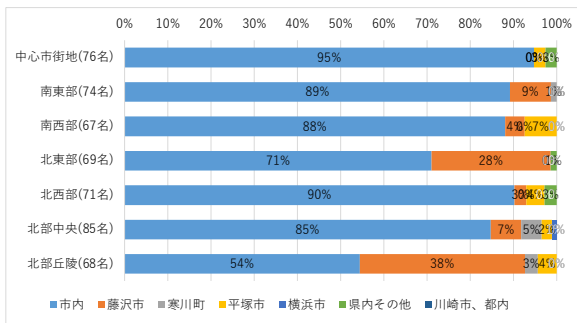


■図表 15 買い物の移動頻度、鉄道利用有無

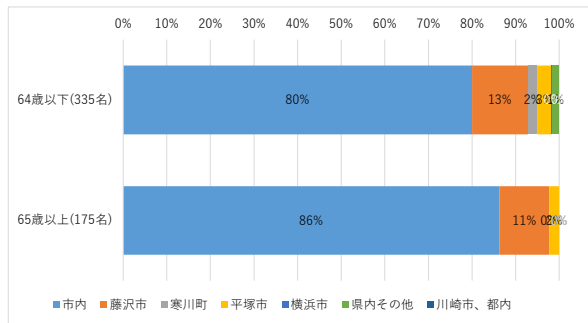
### (3) 移動先

全体的に市内が多い、その中で、北東部、北部丘陵は藤沢市の比率が高い  
年代別では、64歳以下は65歳以上より市内の比率が低く、平塚への移動がやや増えている

居住地域別



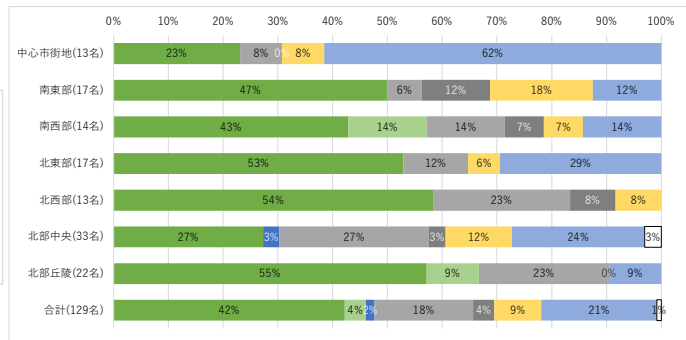
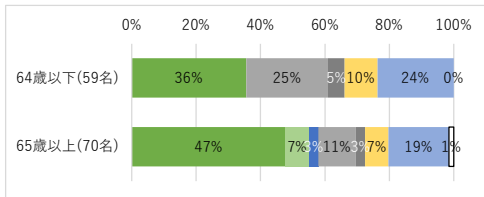
年代別



■図表 16 買い物の移動先

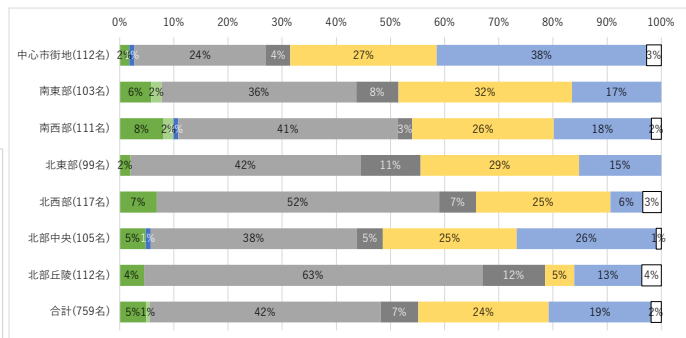
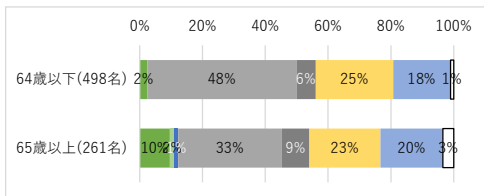
#### (4) 鉄道駅までの移手段

※鉄道を利用する方  
路線バスが最も多い



#### (5) 移手段 (鉄道を利用しない方の主な手段)

※鉄道を利用しない方  
自動車(自分で運転)が最も多いが、  
通勤・通学と比較し、  
自転車、徒歩の比率が高い



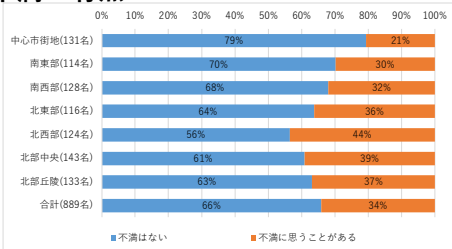
- 凡例
- 路線バス
  - コミュニティバス
  - 予約型乗合バス
  - タクシー
  - 自動車(ご自身で運転)
  - 自転車
  - 自動車(家族等の送迎)
  - 徒歩
  - その他

■ 図表 17 買い物の移手段 (鉄道利用有無別)

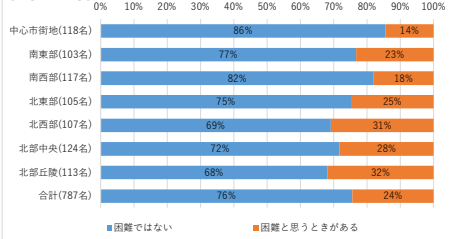
#### (6) 移動の不満、困難の有無

30%の方が不満があると回答  
北部丘陵地域で比率が高い

##### 不満の有無

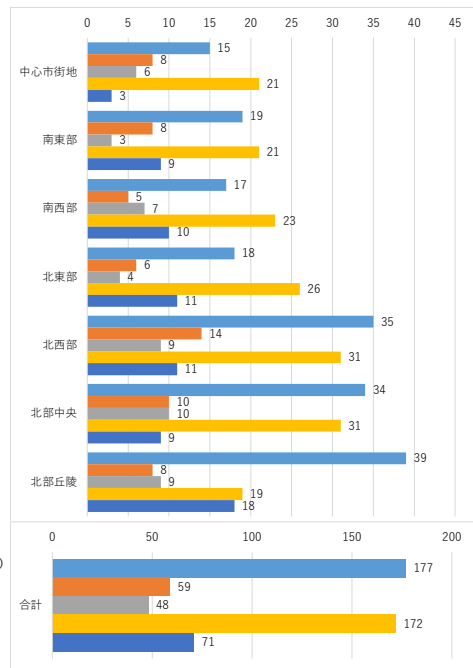


##### 困難の有無



#### (7) 不満、困難とする理由

鉄道やバスが不便、交通状況(渋滞など)といった意見が多い

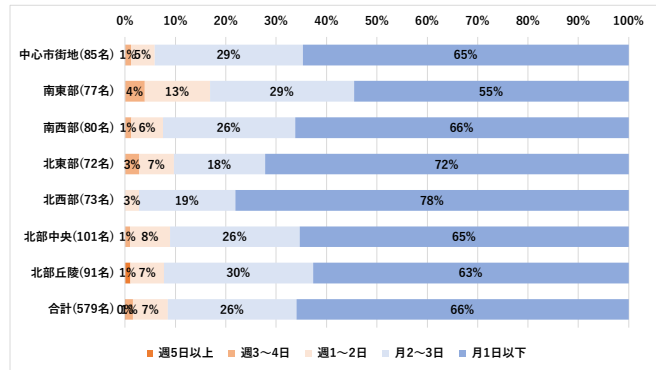
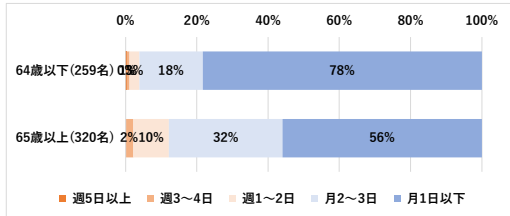


■ 図表 18 買い物の移動の不満、困難の有無、不満、困難の理由

## 2.6 通院の移動実態

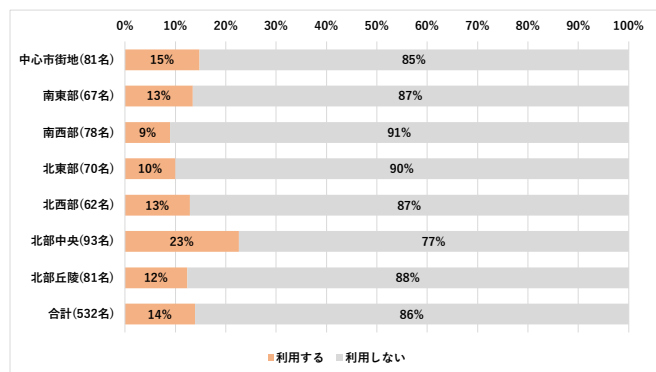
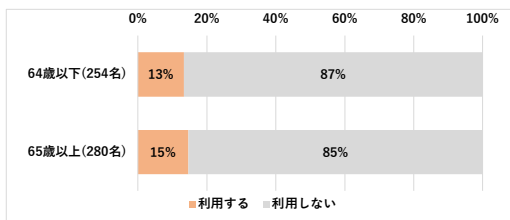
### (1) 移動頻度

月1日以下の方が多く、  
続いて月2～3日となっている



### (2) 鉄道利用有無

鉄道を利用する比率は低い  
北部中央のみやや高い

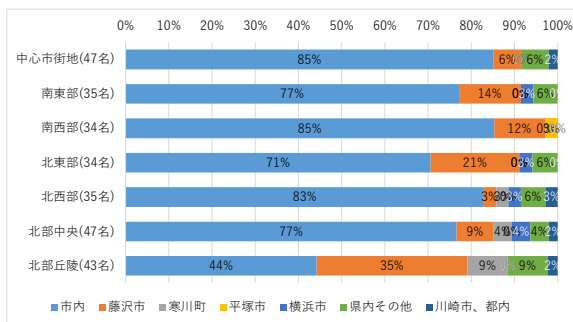


■図表 19 通院の移動頻度、鉄道利用有無

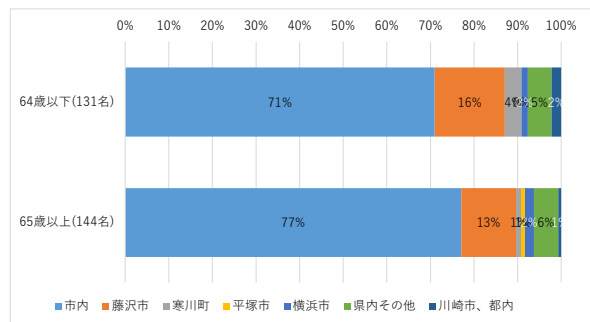
### (3) 移動先

全体的に市内が多い、その中で、北東部、北部丘陵は藤沢市の比率が高い  
年代別では、64歳以下は65歳以上より市内の比率が低く、藤沢市や寒川町、川崎市・都内への移動がやや増えている

#### 居住地域別



#### 年代別

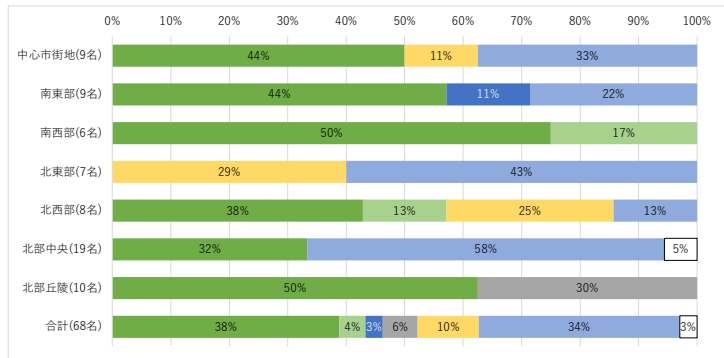
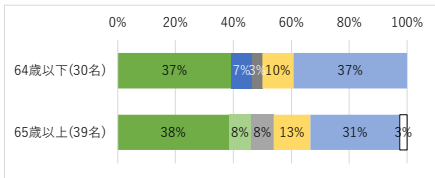


■図表 20 通院の移動先



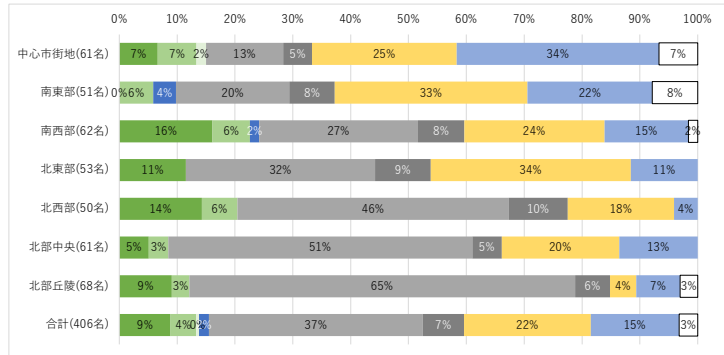
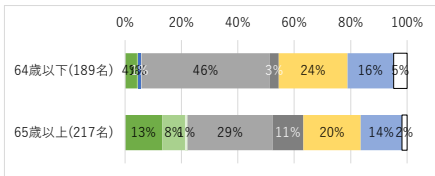
#### (4) 鉄道駅までの移動手段

※鉄道を利用する方  
路線バスが最も多い



#### (5) 移動手段（鉄道を利用しない方の主な手段）

※鉄道を利用しない方  
自動車（自分で運転）が最も多いが、  
通勤・通学と比較し、  
自転車、徒歩の比率が高い  
路線バスの利用も1割程度みられる



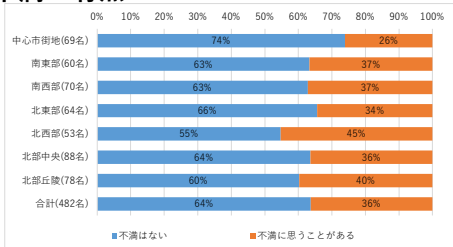
凡例 ■ 路線バス ■ タクシー ■ 自動車(家族等の送迎) ■ コミュニティバス ■ 予約型乗合バス ■ 自動車(ご自身で運転) ■ 自転車 ■ 徒歩 □ その他

■ 図表 21 通院の移動手段（鉄道利用有無別）

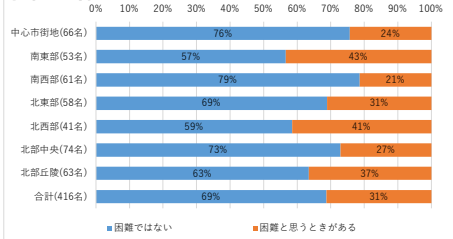
#### (6) 移動の不満、困難の有無

30%の方が不満があると回答  
中心市街地の方で不満のある方が多い

##### 不満の有無



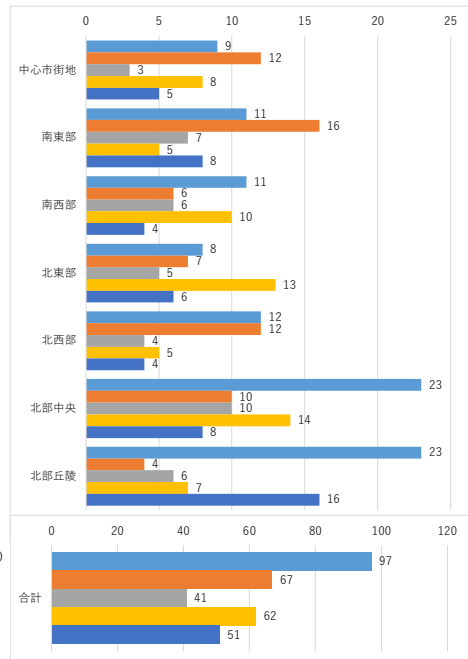
##### 困難の有無



#### (7) 不満、困難とする理由

鉄道やバスが不便、  
交通状況（渋滞など）  
といった意見が多い

北部中央での鉄道  
やバスが不便の意見  
が突出して多い

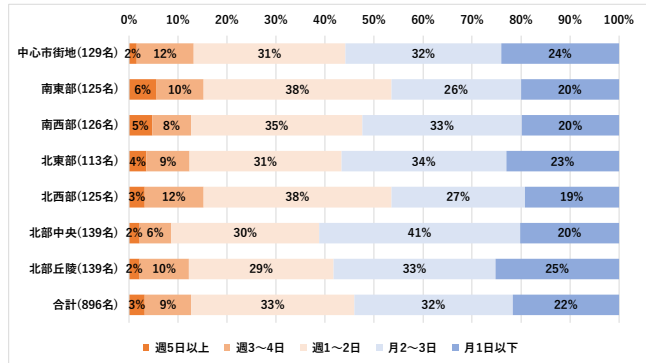
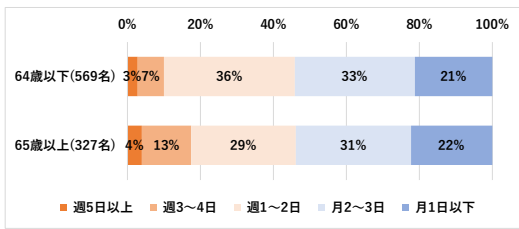


■ 図表 22 通院の移動の不満、困難の有無、不満、困難の理由

## 2.7 その他の用事の移動実態

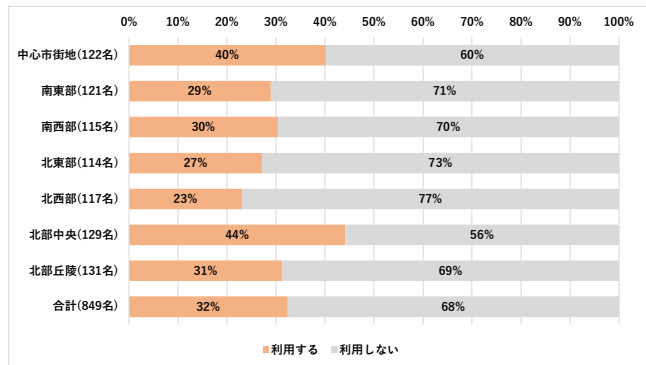
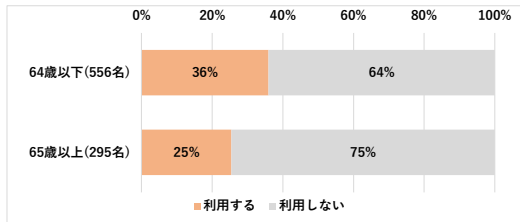
### (1) 移動頻度

週1～2日、月2～3日が多い



### (2) 鉄道利用有無

鉄道を利用する比率は低い  
北部中央のみやや高い

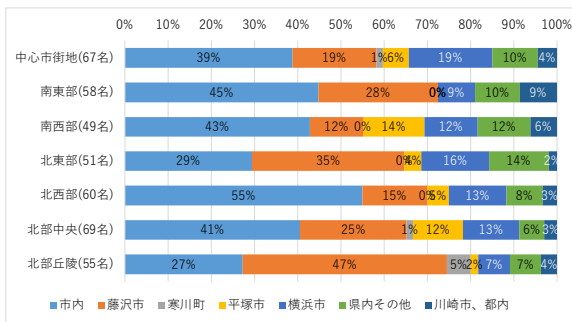


■図表 23 その他の用事の移動頻度、鉄道利用有無

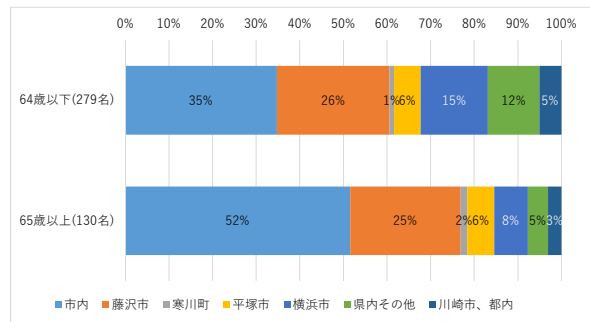
### (3) 移動先

市内、藤沢市、横浜市、県内その他で広範囲で移動している  
北東部、南東部、北部丘陵は藤沢市の比率が高い  
南西部、北部中央は平塚市への移動が見られる  
年代別では、64歳以下が65歳以上と比較して横浜市、県内その他の比率が高い

#### 居住地域別



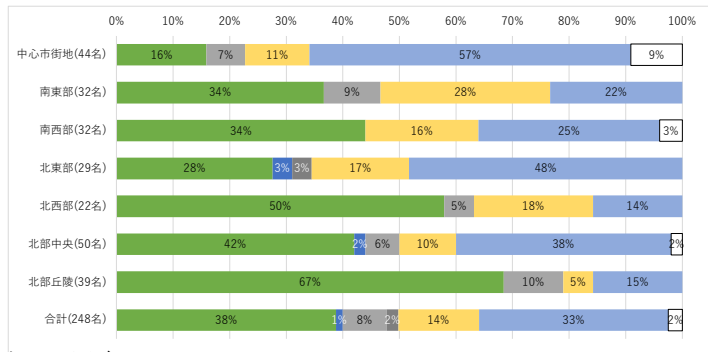
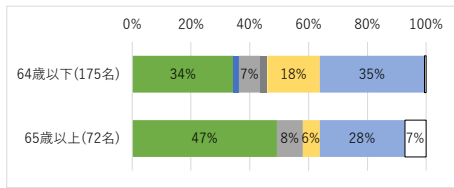
#### 年代別



■図表 24 その他の用事の移動先

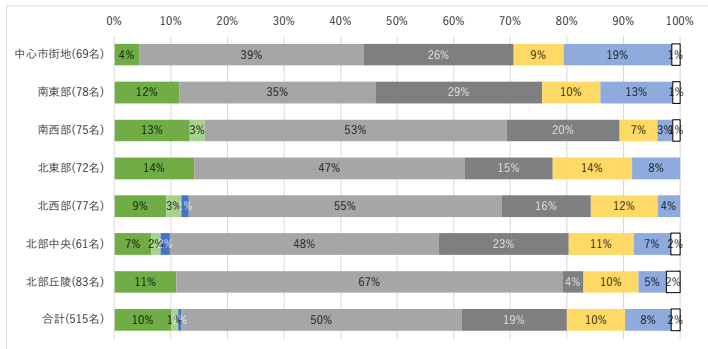
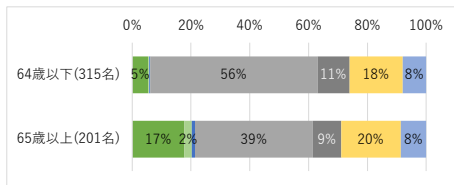
#### (4) 鉄道駅までの移動手段

※鉄道を利用する方  
路線バスが最も多い



#### (5) 移動手段（鉄道を利用しない方の主な手段）

※鉄道を利用しない方  
自動車（自分で運転）が最も多いが、  
通勤・通学と比較し、  
自転車、徒歩の比率が高い  
路線バスの利用も1割程度みられる



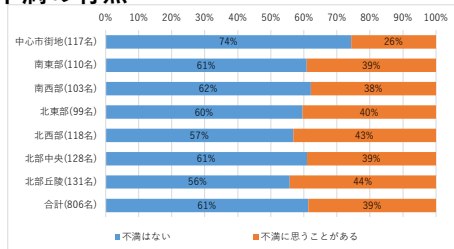
- 凡例
- 路線バス
  - タクシー
  - 自動車(家族等の送迎)
  - コミュニティバス
  - 自動車(ご自身で運転)
  - 徒歩
  - 予約型乗合バス
  - 自転車
  - その他

■ 図表 25 その他の用事の移動手段（鉄道利用有無別）

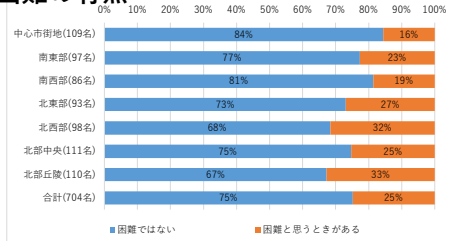
#### (6) 移動の不満、困難の有無

40%の方が不満があると回答  
中心市街地の方で不満のある方が多い

##### 不満の有無



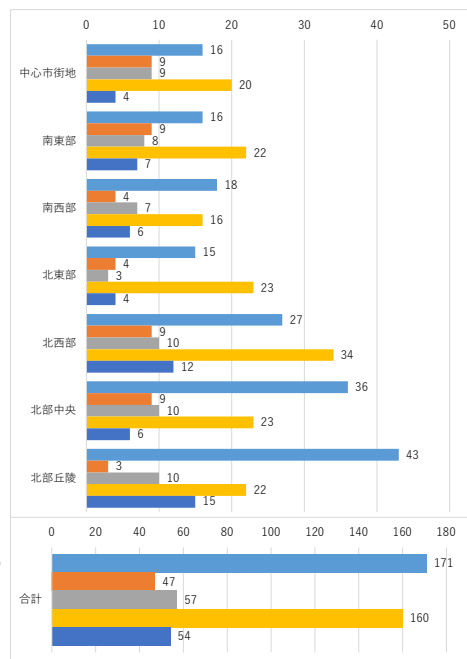
##### 困難の有無



#### (7) 不満、困難とする理由

鉄道やバスが不便、  
交通状況（渋滞など）  
といった意見が多い

北部中央、北部丘陵  
地域での鉄道や  
バスが不便の意見  
が突出して多い

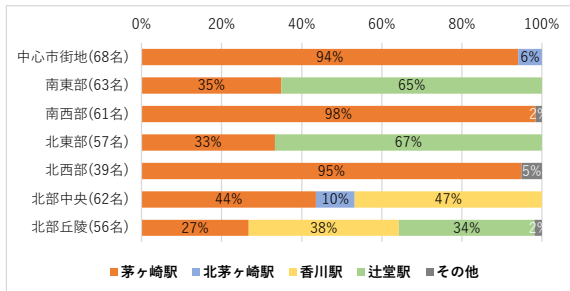


■ 図表 26 その他の用事の移動の不満、困難の有無、不満、困難の理由

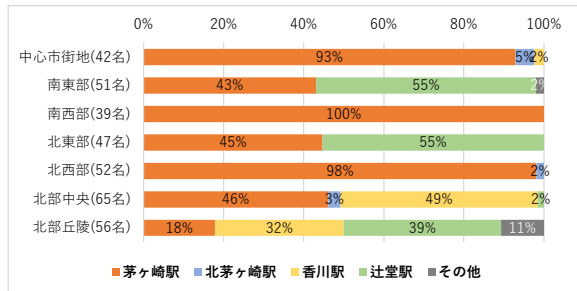
## 2.8 各移動目的での鉄道利用駅

南東部、北東部、北部丘陵での辻堂駅の比率、北部中央、北部丘陵での香川駅の比率が高い

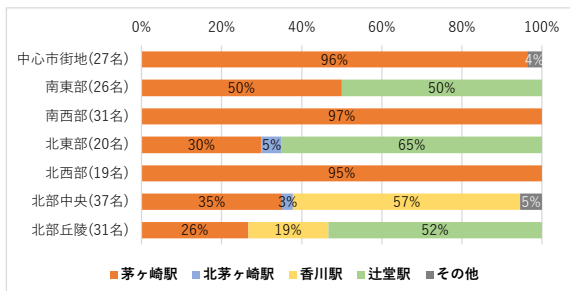
### ・通勤通学



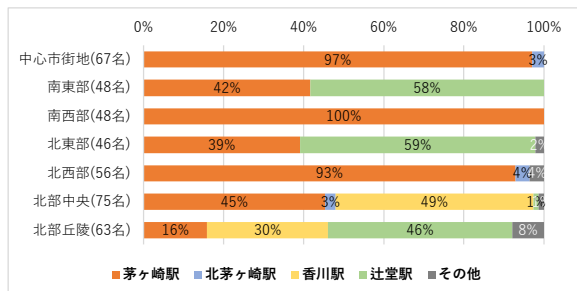
### ・買い物



### ・通院



### ・その他の用事



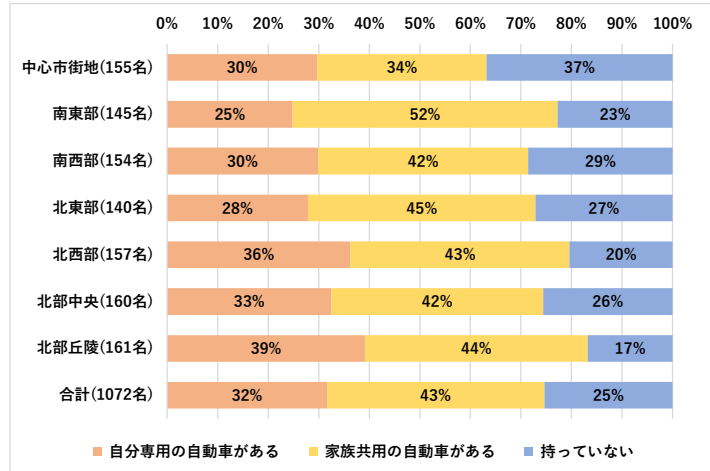
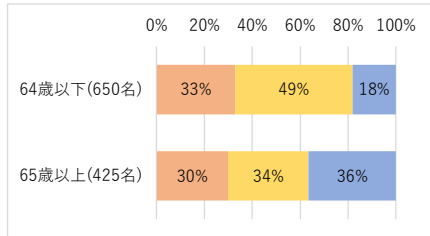
■ 図表 27 移動目的ごとの利用鉄道駅



## 2.9 自動車、免許の保有状況、免許の返納意向

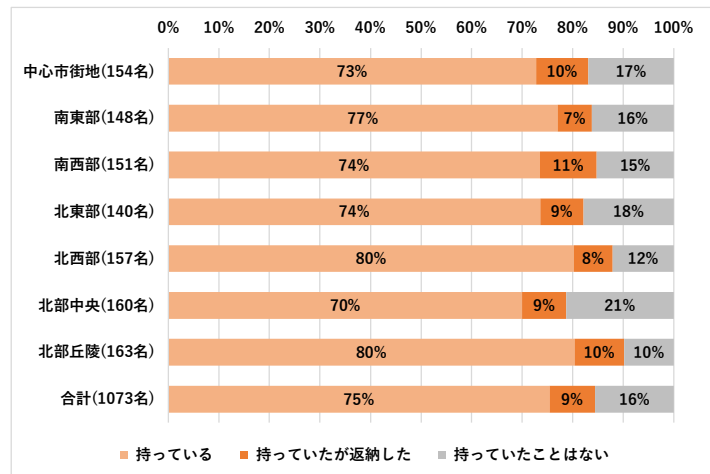
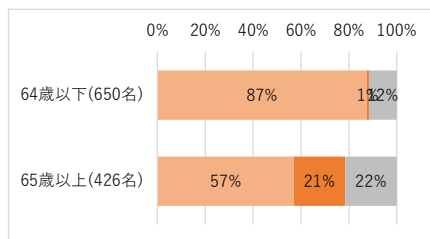
### (1) 自動車の保有状況

8割の方が世帯に  
自動車があると回答



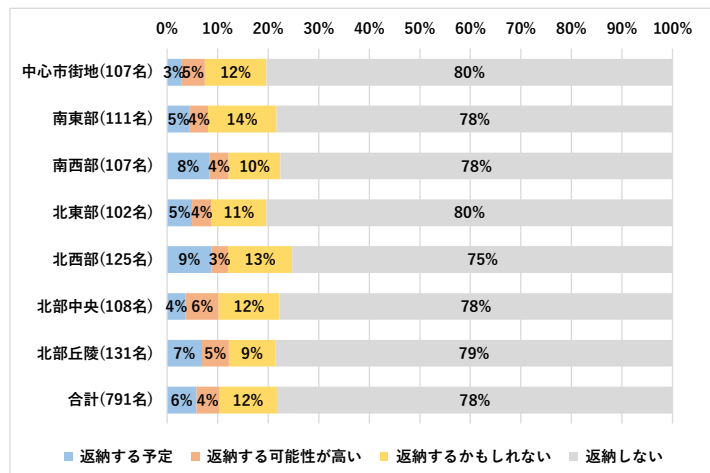
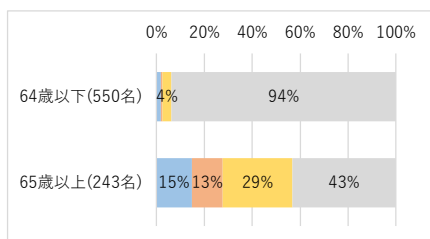
### (2) 免許の保有状況

8割の方が免許を  
持っている回答



### (3) 免許保有者の 返納意向 (5年以内)

返納予定の方は1割程度  
返納予定がない方は8割



■図表 28 自動車、免許の保有状況、免許の返納意向

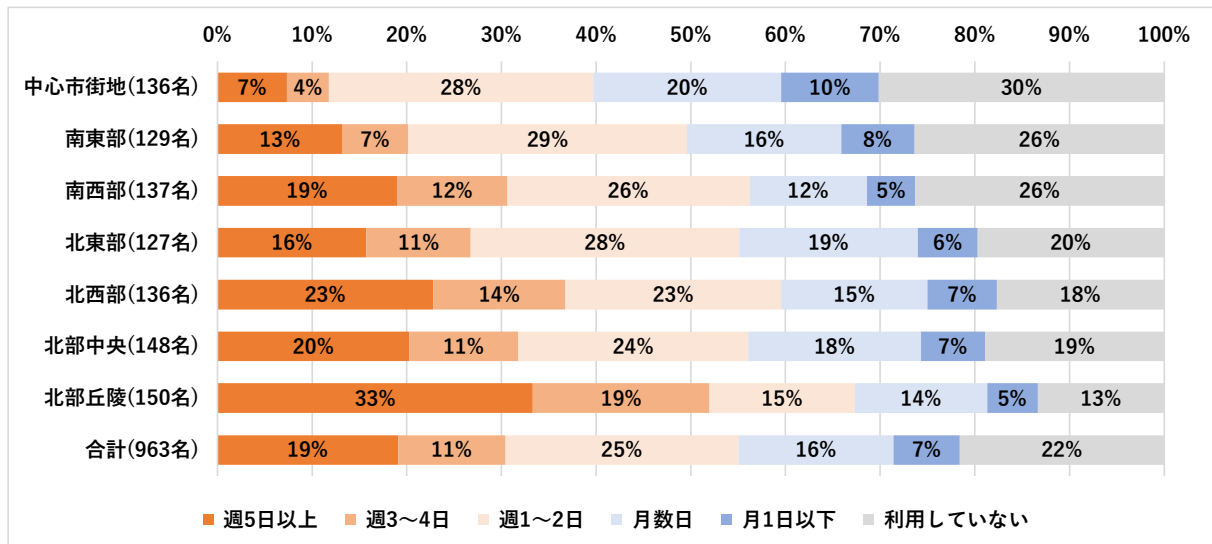
## 2.10 自動車の利用状況

### (1) 自動車利用状況

#### ①市内や近隣市町（藤沢市、寒川町、平塚市など）への移動

近隣市町への自動車での移動状況は、週に1日以上の方が半数以上である。

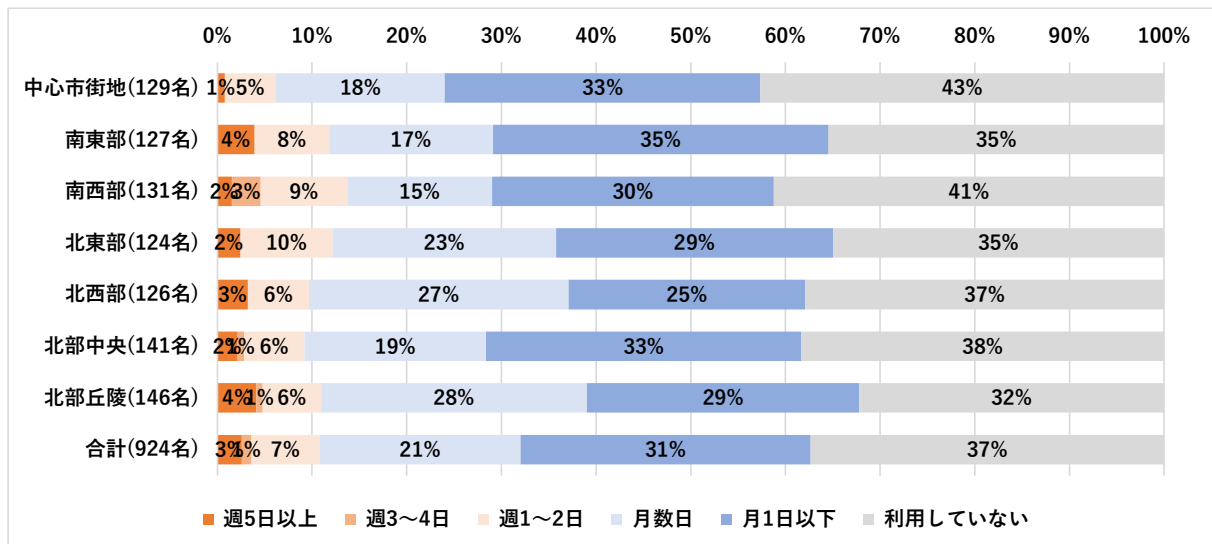
特に北部丘陵地域では週5日以上の方が4割と高く、日常的に近隣市町に移動している



■図表 29 市内や近隣市町（藤沢市、寒川町、平塚市など）への自動車利用状況

#### ②より広範囲（横浜市、小田原市など）への移動

近隣市町と比較するとより広範囲への自動車での移動は少ない。

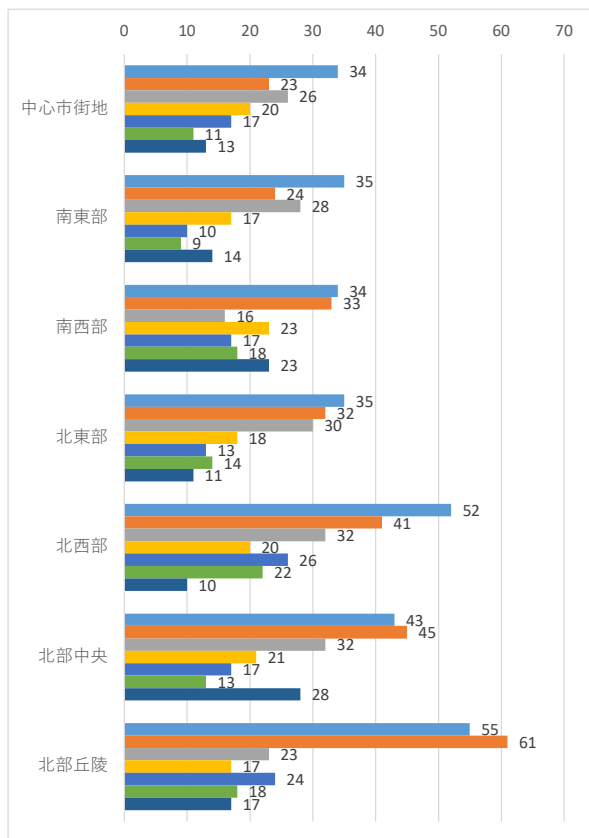


■図表 30 より広範囲（横浜市、小田原市など）への自動車利用状況

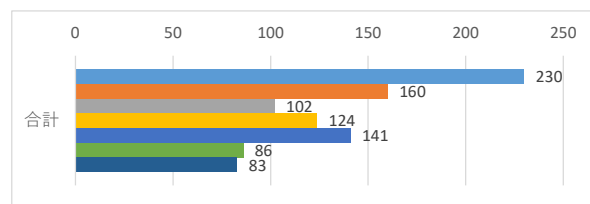
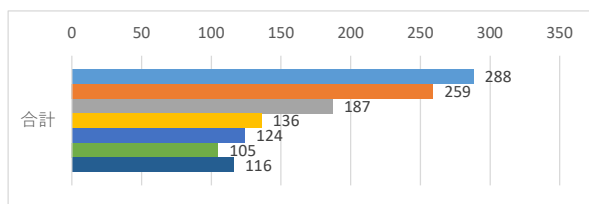
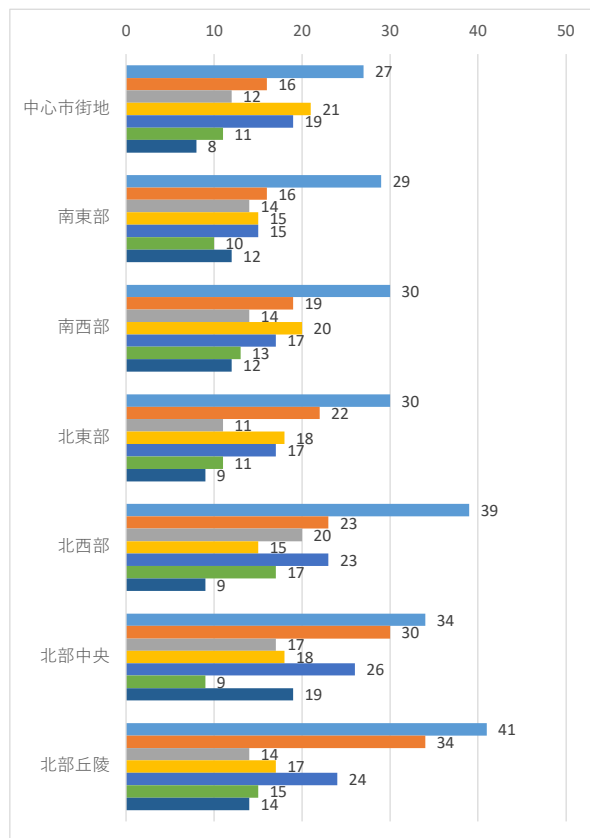
## (2) 自動車を利用する理由

近隣市町、より広範囲の移動ともに自動車以外の方法を考えたことがないが最も多くなっている。公共交通が使いづらいという理由については、北西部、北部中央、北部丘陵で特に多くなっている。

●市内や近隣市町（藤沢、寒川、平塚）への移動



●より広範囲（横浜市、小田原市など）への移動



- 1. 自動車以外の方法を考えたことがない
- 2. 公共交通が使いづらい
- 3. ご自身の状況（足が不自由、荷物が多いなど）
- 4. 同乗者の状況（子連れで移動が大変など）
- 5. 移動にかかる費用が自動車の方が安い
- 6. 自動車のほうが安心・安全
- 7. その他

■図表 31 自動車を利用する理由

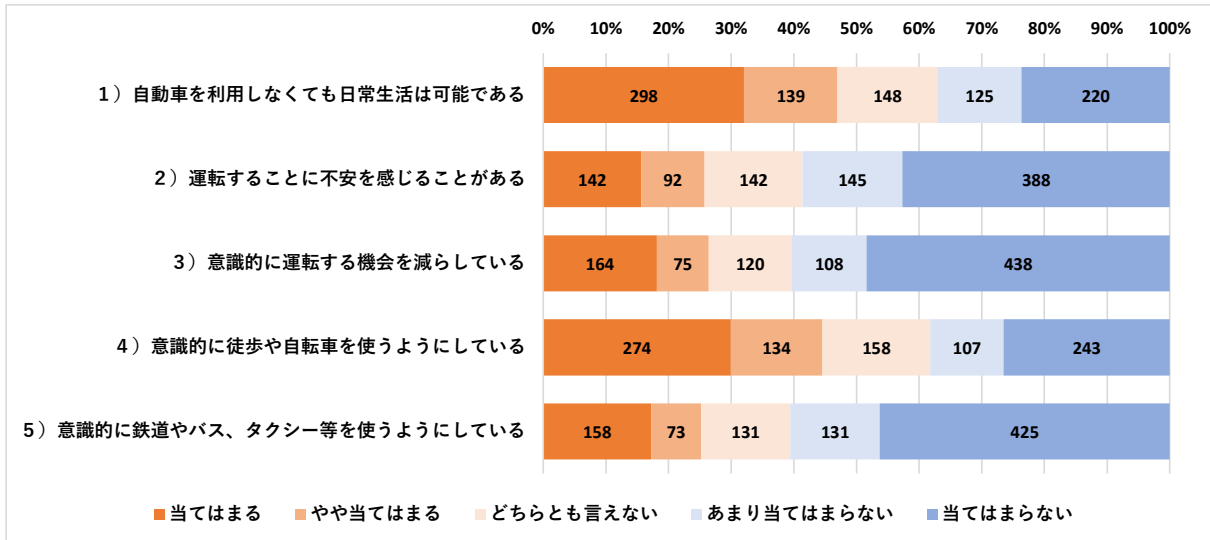
### (3) 自動車の運転に関する意識

#### ①回答者全体の意見

自動車を利用しなくても日常生活は可能、とする方は回答者の半数弱となっている。

他に、意識的に徒歩や自転車を使うようにしている方も多い。

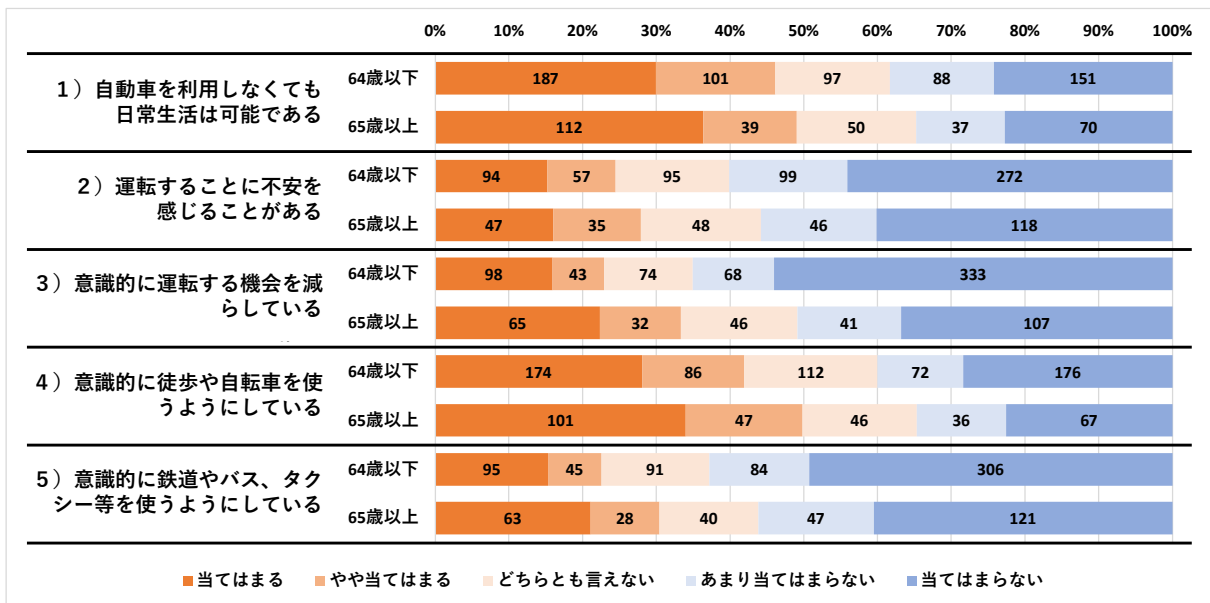
一方、運転に不安を感じる方、意識的に運転を減らしている方、意識的に公共交通やタクシーを使っている方は少なくなっている。



■図表 32 自動車の運転に関する意識

#### ②年代別の意見

64歳以下と比較して、65歳以上の方はどの項目も当てはまる方が多い。

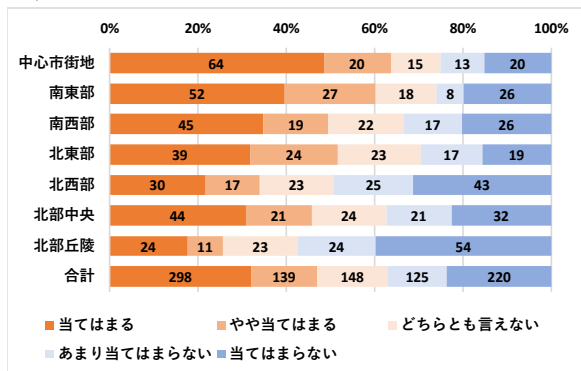


■図表 33 自動車の運転に関する意識（年代別）

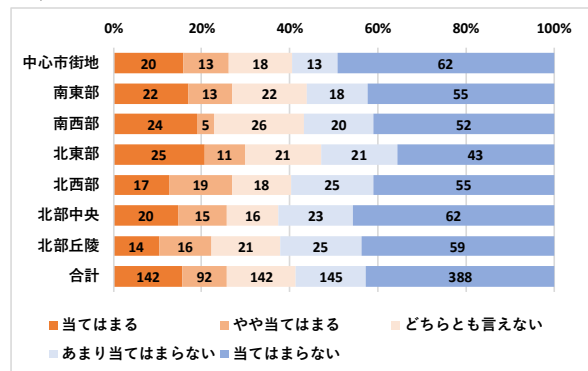


### ③地域別の意見

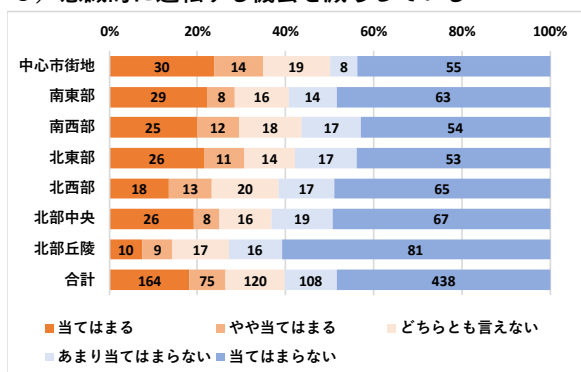
#### 1) 自動車を利用しなくても日常生活は可能



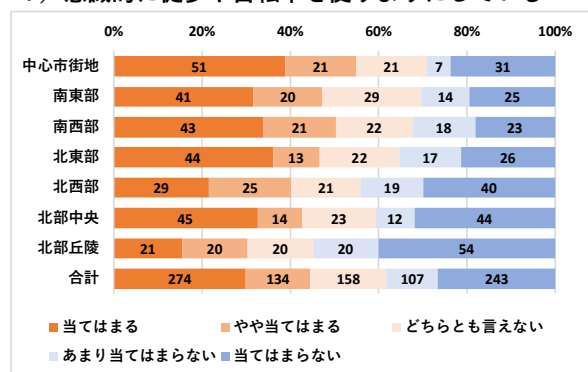
#### 2) 運転することに不安を感じることもある



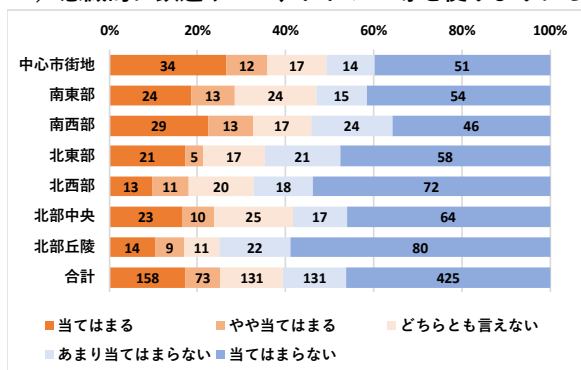
#### 3) 意識的に運転する機会を減らしている



#### 4) 意識的に徒歩や自転車を使うようにしている



#### 5) 意識的に鉄道やバス、タクシー等を使うようにしている



■ 図表 34 自動車の運転に関する意識（地域別）